

平成28年
1月25日(月)
19:00~21:00

平成28年
3月17日(木)
19:00~21:00

真田幸村



変化

音楽絵巻「真・幸村伝：散華、暁を待たず」
(講談・リュート)

文楽「鎌倉三代記 絹川村の段より高綱物語」
(1月25日は〈素浄瑠璃〉の予定です)

新作能「真田幸村」

国登録有形文化財 山本能楽堂

主催：公益財団法人 山本能楽堂 助成：大阪市

真田幸村三変化

豊臣秀吉とともに永遠のヒーローである真田幸村。その真田幸村を共通のテーマに、能、文楽、講談を同時上演することで、それぞれ芸の違いによって、幸村がどのように表現され芸の中に登場するのを見比べ楽しんで頂く公演です。幸村と家康の戦いやいかにー！上方伝統芸能による真田幸村の魅力をたっぷりとお楽しみくださいませ！

平成28年

1月25日(月)

19:00~21:00

[開場 18:30]

平成28年

3月17日(木)

19:00~21:00

[開場 18:30]

プログラム

音楽絵巻「真・幸村伝：散華、暁を待たず」

講 談：旭堂南左右衛門

リユート：高本一郎

制 作：中野順哉（作家・日本テレマン協会代表）

「大坂の陣」は徳川家康が豊臣家を滅ぼすための戦であった——というこれまでの認識を徹底的に否定した野心作。幕府の転覆をはかる家康重臣。彼らが仕掛けた「罟」の中で、大坂は攻撃対象となってしまった。家康も簡単には勝てないこの戦を、あえて仕掛けるを得ない。そんな中で眠っていた英雄幸村が姿を現した。果たしてこの戦に正義はあるのか？目の前で英雄たちの死を見届け、己も凄惨な戦いの場に身を置いて、新しき国家「日ノ本」の生みの苦しみの中に命を捧げる幸村。作家・中野順哉と講談師・旭堂南左右衛門のコンビで100回以上重ねてきたバロック音楽とのコラボレーション「音楽絵巻」。今回はナレーション役とともに、文楽、能を一つのストーリーの上に乗せるという初の試み。関西発の新文化をお楽しみください。

文楽「鎌倉三代記 絹川村の段より高綱物語」

※1月25日は〈素浄瑠璃〉の予定です。予めご了承くださいませ。

太 夫：豊竹英大夫

三 味 線：竹澤宗助

人 形：吉田幸助、吉田玉佳、吉田玉路（※3月17日のみ）

大坂夏の陣を題材にしていますが、徳川幕府をはばかって世界を鎌倉幕府に変え登場人物の名前も変えてあります。佐々木高綱(真田幸村)は安達藤三郎(安藤長三郎)として北条時政(徳川家康)の元に滞り込み、娘の時姫(千姫)に時政を討たせようと企てたのです。

新作能「真田幸村」

制作：山本章弘

恵阪 悟（帝塚山大学文学部専任講師）

監修：北川 央（大坂城天守閣館長）

出演：シテ(真田幸村)：山本章弘

ツレ(影 武者)：山本麗晃

ツレ(徳川家康)：井戸良祐

ツレ(松平忠直)：今村哲朗

ツレ(西尾仁左衛門)：林本 大

ツレ(郎 党)：笠田祐樹

ツレ(郎 党)：上野雄介

笛：齊藤 敦

小鼓：古田知英

大鼓：守家由訓

ツレ(西尾仁左衛門)：林本 大

ツレ(郎 党)：笠田祐樹

ツレ(郎 党)：上野雄介

地謡：

浦田保親

吉井基晴

大西礼久

上田宜照

後見：

波多野晋(1月25日のみ)

山本博通(3月17日のみ)

梅若基徳

(新作能「真田幸村」あらすじ)

慶長20年(1615)5月7日、前日の道明寺合戦、八尾合戦、若江合戦に敗れた豊臣方はこの日、徳川方に最後の決戦を挑みます。豊臣方随一の智将と謳われた真田幸村は、影武者を巧みに使って徳川方の大軍を混乱に陥れ、自らは十字槍を片手に、徳川家康本陣目指して真一文字に突撃しました。真田軍のあまりの猛攻に、さしもの旗本衆も散々に追い立てられ、家康本陣にはたった一人家康だけが取り残されます。そこに幸村が突入。幸村は家康と向き合うことになります。「今、私が貴殿を討ち取ることは容易い。しかし、それでは、またもや世は戦国に逆戻り。二度と戦乱の

起こらぬ世にすると約束してくれるのであれば、私はあなたを生かし、この場から退散しよう」という幸村に、家康は泰平の世を築くことを承諾します。家康の回答に安心した幸村は、笑みを浮かべて、家康本陣から夕闇の中へと姿を消していきます。

能は、静かなイメージをもたれがちですが、「能のチャンバラ」と言われている「切り組みもの」は能舞台の上で激しい動きが繰り広げられます。幸村と家康の激しい合戦のようすを描きながらも、「平和への祈り」を込め、制作させていただきました。

アフタートーク 各芸能の出演者による制作秘話など

入場料

【全席自由席】前売 4,500円 当日 5,000円 学生 2,000円

チケット取扱い

山本能楽堂 公式サイト <http://noh-theater.com>

TEL 06-6943-9454

お問い合わせ

公益財団法人 山本能楽堂

TEL 06-6943-9454 FAX 06-6942-5744

主催：公益財団法人 山本能楽堂 助成：大阪市

真田幸村図：北村 章 テラデザイン：おおつかひろふみ

会場

山本能楽堂

(国登録有形文化財)

大阪市中央区徳井町1-3-6



地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅4番出口より谷町筋に沿って北へ、1筋目(ホテルサンホワイト)手前を左折。1筋越えてすぐ左手。



OHAYASHI sensei

山本能楽堂+team OKINA
が開発したiPad 無料アプリ

「OHAYASHI sensei」では、能楽で使用されている笛・小鼓・大鼓・太鼓という四つの楽器と囃子方が能の公演中にかける「かけ声」を気軽に体験することができます。能楽の基本である「中の舞」を自分で演奏するゲームもありますので、気軽に挑戦してみてください！

